

# 令和2年度事業報告

一般社団法人 日本船用機関整備協会

## 第1 組織の概要

### 1. 会員

令和2年度末現在の会員は、次のとおりである。

正会員	549社	うち	整備業会員	532社
			製造会員	17社
賛助会員	30団体・個人	うち	団体	21団体
			個人	9人

〔 令和2年度の入退会は、入会8社（正会員 8社）  
退会14社（正会員 14社） 〕

### 2. 役員

令和2年度末現在の役員は、会長1名、副会長4名、専務理事1名、理事26名（理事総数32名）、監事2名及び顧問2名である。（役員名簿参照）

### 3. 委員会等

本協会の事業を実施するため、次の委員会を設置している。

- (1) 政策委員会(委員14名)
- (2) 船用機関整備士資格検定委員会(委員15名)
- (3) 船用機関整備士資格検定講習小委員会(委員11名)
- (4) 業務委員会(委員15名)

### 4. 事務局

令和2年度末の事務局の概要は、次のとおりである。

#### (1) 所在地

東京都千代田区神田岩本町4番地9 トゥルム神田 8階  
電 話：03-3256-0141  
FAX：03-3256-0140

#### (2) 組織

専務理事 渡邊 元尚  
事務局長(兼) 渡邊 元尚

#### (総務部)

部 長 河村 浩二  
係 員 丹 純子

- 1 庶務に関する事。
- 2 総会、理事会及び政策委員会に関する事。
- 3 予算及び決算に関する事。
- 4 事業計画及び事業報告に関する事。
- 5 会員及び会費に関する事。
- 6 経理、給与等に関する事。
- 7 文書、公印、規程等の管理に関する事。

#### (技術部)

部 長 鈴木 雅裕  
専任部長(兼) 正一 喜男  
大下 さや香

- 1 船用機関整備士の資格検定に関する事。
- 2 船用機関整備業の技術の向上に関する事。
- 3 船用機関の技術の改善に関する事。
- 4 船用機関整備士資格検定委員会及び講習小委員会に関する事。

(業務部)  
部長 正一 喜男

- 1 船用機関整備業界の振興に関する調査研究に関する  
こと。
- 2 船用機関整備業の振興に関する情報及び広報に関する  
こと。
- 3 支部との連絡調整に関すること。
- 4 業務委員会、中小型機関幹事会、高速機関整備部会  
に関すること。

## 第2 事業の概要

### 1. 船用内燃機関整備技術者認証機関証明

「船用内燃機関整備技術者認証機関証明」は、機関故障に基づく海難防止等に係わる啓蒙を含めた船用機関の整備技術者の能力・知識・技術水準の維持を目的として事業団体が行っている認証制度を評価・証明しようとするものです。

当協会の行う船用機関整備士の資格検定事業は、国土交通省の審査の結果、まさしくこの認証制度に該当する国土交通省の定める基準を満足するとされ、令和2年1月に認定が更新されています。

当協会としては、証明を再取得したことを受けて、引き続き今後発行する船用機関整備士資格証明書及び船用機関整備士証に、「この資格は、国土交通省により「船用内燃機関整備技術者認証機関」としての証明を受けた制度に基づき認定されている。」旨を明記するほか、船用機関整備士資格が「国土交通省公認の資格」であること、船用機関整備士の認知度が高まるよう、資格者バッジ、ヘルメットシール、名刺シールを配付、ホームページ、会報等の発行物、その他多くの媒体・機会を利用して今後とも「船用機関整備士資格」をPRして参ります。

### 2. 「船用機関整備士」の資格検定【日本財団助成事業】

船用機関整備技術者に対して講習会及び検定試験を実施することにより、知識と技量を備えた「船用機関整備士」を育成し、船用機関整備技術者の技術レベルの向上を図った。

#### (1) 委員会等の開催

船用機関整備士資格検定事業の実施計画、講習内容、試験問題、合否判定等を審議するため、「船用機関整備士資格検定委員会」を4回、「講習小委員会」2回を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、7月、9月、2月の委員会はそれぞれ書面開催で実施した。

4月15日(水)	第1回船用機関整備士資格検定委員会、第1回講習小委員会
7月13日(月)	第2回船用機関整備士資格検定委員会、第2回講習小委員会
9月16日(水)	第3回船用機関整備士資格検定委員会
12月22日(火)	第4回船用機関整備士資格検定委員会
2月16日(火)	第5回船用機関整備士資格検定委員会、第3回講習小委員会

#### (2) 指導書(テキスト)及び問題集の作成

① 新規講習会で使用する2～3級船用機関整備士の指導書及び問題集の2019年度版を見直して令和2年度版を作成した。

② 更新講習会で使用する指導書(各級で共通使用)を作成した。

③ 3級の指導書を水産高校、水産系大学及び海員養成学校に送付した。

#### (3) 資格検定新規講習会の開催

検定試験の受験者を対象に資格検定新規講習会を下表のとおり実施した。

① 1級船用機関整備士新規講習会は、例年5月、6月に開催しているが実施は見送った。その後状況をみながら、年明け1月、2月に開催時期をずらして開催する準備を行ったが、1月に入り開催予定の府県の多くに緊急事態宣言が発令されたため、こちらも実施を見送った。

② 2級船用機関整備士新規講習会を下記9会場で開催、89名が受講した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数	開催日
北海道	小樽市（小樽港湾センター）	7	10月15日(木)～10月16日(金)
東 北	仙台市（東北港運会館）	3	9月24日(木)～9月25日(金)
関 東	横浜市（波止場会館）	13	10月7日(水)～10月8日(木)
中 部	名古屋市（名古屋港湾会館）	2	10月1日(木)～10月2日(金)
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	18	10月15日(木)～10月16日(金)
中 国	広島市（RCC文化センター）	11	10月8日(木)～10月9日(金)
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	9	10月1日(木)～10月2日(金)
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	20	10月15日(木)～10月16日(金)
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	6	9月24日(木)～9月25日(金)
合 計		89	

③ 3級船用機関整備士新規講習会を下記10会場で開催、110名が受講した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数	開催日
北海道	小樽市（小樽港湾センター）	14	10月1日(木)～10月2日(金)
東 北	仙台市（東北港運会館）	15	10月8日(木)～10月9日(金)
関 東	横浜市（波止場会館）	9	9月30日(水)～10月1日(木)
中 部	名古屋市（名古屋港湾会館）	4	9月10日(木)～9月11日(金)
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	23	9月24日(木)～9月25日(金)
中 国	広島市（RCC文化センター）	7	9月10日(木)～9月11日(金)
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	12	9月24日(木)～9月25日(金)
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	12	10月1日(木)～10月2日(金)
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	9	10月8日(木)～10月9日(金)
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	5	10月15日(木)～10月16日(金)
合 計		110	

(4) 検定試験の実施

資格検定新規講習会受講者に対して学科及び実技試験を実施し、合格者にその資格を取得したことを証明する資格証明書(有効期間4年)を交付した。

① 1級船用機関整備士資格検定試験は実施を見送った。

② 2級・3級船用機関整備士資格検定試験（学科・実技）を11月20日（金）に下記9会場で実施し、12月22日開催の船用機関整備士資格検討委員会において審議の結果、2級は98名の受験者のうち81名が、3級は114名の受験者のうち109名が合格した。

地 区	実施場所（会場）	受験者数	
		2級	3級
北海道	小樽市（小樽市民センター）	6	14
東 北	仙台市（仙台サンプラザ）	4	15
関 東	横浜市（横浜YWCA）	13	10
中 部	名古屋市（名古屋港湾会館）	3	4
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	19	26
中 国	広島市（RCC文化センター）	11	8
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	10	10
九 州	福岡市（福岡商工会議所）	23	22
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	9	5
合 計		98	114

(5) 資格更新講習会

資格証明書の有効期間（４年間）が満了する平成 28 年度資格取得者及び資格有効期間更新者を対象に資格更新講習会を実施し、「舶用機関整備士」としての知識及び技量を維持していることの確認を行った。

- ① １級機関整備士資格更新講習会は例年５月、６月に開催しているが実施は見送った。その後状況をみながら、年明け１月、２月に開催時期をずらして開催する準備を行ったが、１月に入り開催予定の府県の多くに緊急事態宣言が発令されたため、こちらも実施を見送った。
- ② ２級・３級舶用機関整備士資格更新講習会（合同講習会）を下表のとおり 19 会場で開催し、２級 139 名、３級 131 名が資格を更新した。

地 区	実施場所（会場）	受講者数		開催日
		２級	３級	
北海道	稚内市（稚内港湾施設棟）	2	0	9月10日(木)
	釧路市（釧路港湾福利厚生会館）	11	6	9月24日(木)
	小樽市（小樽港湾センター）	3	6	10月14日(水)
東 北	仙台市（東北港運会館）	12	7	9月23日(水)
北 陸	七尾市（七尾商工会議所）	3	3	10月 2日(金)
	新潟市（新潟ユニゾンプラザ）	8	2	10月 9日(金)
関 東	横浜市（波止場会館）	11	11	10月 6日(火)
中 部	名古屋市（名古屋港湾会館）	2	5	9月30日(水)
	静岡市（清水テルサ）	3	7	10月 9日(金)
	鳥羽市（鳥羽商工会議所）	4	3	10月16日(金)
近 畿	大阪市（大阪府立労働センター）	11	16	10月14日(水)
中 国	広島市（RCC文化センター）	13	11	10月 7日(水)
四 国	高松市（高松港湾労働者福祉センター）	4	10	9月30日(水)
	今治市（今治ヤンマー(株)）	19	12	10月16日(金)
九 州	上天草市（上天草市商工会大矢野支所）	3	4	9月11日(水)
	大分市（大分県中小企業会館）	4	5	9月18日(金)
	福岡市（福岡商工会議所）	8	8	10月14日(水)
	長崎市（長崎バスターミナルホテル）	10	11	10月30日(金)
沖 縄	那覇市（沖縄船員会館）	8	4	9月23日(水)
合 計		139	131	

3. 技術講習会の実施【自主事業】

比較的経験の浅い舶用機関整備従業員を対象に、ノギス、マイクロメータ等の計測基礎の実技講習会を1箇所で開催した。

No.	開催地	開催日	受講者
1	那覇市 沖縄船員会館	11月19日(木)	10

4. 小型船舶の機関事故防止推進【自主事業】

(1) 機関事故防止講習会の開催

小型船舶の機関事故を防止するため海上保安庁と連携して機関事故防止の講習会を1回開催した。

No.	主催者（協力機関）	開催地	開催日	参加者	対象
1	第十一管区海上保安本部	那覇市 那覇港湾合同庁舎	11月19日(木)	30	海保職員

5. 機関整備業務の活性化推進

(1) 外国人材の受け入れ

国の「新たな外国人材の受け入れ制度」の一環として国土交通省が実施している「造船・舶用工業分野に係る特定技能外国人受け入れ」の仕組みを利用し、会員企業が「造船・舶用

工業分野に係る事業を営む者であること」の確認を受ける手続きの支援を行った。会員企業1社が9月に「造船・船用工業事業者の確認通知書」の交付を国土交通省から受けた。

## (2) 船舶検査の合理化

船舶検査の合理化の方策として船用ディーゼル機関の検査において整備事業者が行った機関整備について整備記録等を活用し、船舶検査官の立会検査を省略するサービス・ステーション制度が平成12年から実施されている。

協会としては、この制度に他の機関部の機器を追加することを従来から要望していたところであるが、今般、対象範囲となる機器を拡大し、従来のディーゼル内燃機関及びクラッチ等動力装置に加えて、軸系、空気圧縮機、圧力容器、熱交換器、補機及び管装置（弁及びコック）を対象とすることが国土交通省に認められた。また、主機の出力上限も第一種サービス・ステーションで4,000Kwまで拡大された。

## (3) 漁船保険関係機関との連携

日本漁船保険組合が実施する事故防止対策事業に協力するとともに、当協会が実施する機関事故防止講習会の開催等の事業の実施に関する協力要請を行った。

## (4) アスベスト対策

アスベストについては、従前から船舶においても対策が実施されているところであるが、アスベストを含む陸上用の製品がいまだ市中に出回っていることなどから、最近、石綿規則が改正され、今後順次施行されることとなっている。船舶も本規則の対象となっていることから、船舶についての対応を協議するため船舶技術研究協会が中心となって検討会が開催されている。この委員会に積極的に参加して情報収集を実施している。

## 6. 経営基盤の強化

日本財団の造船関係事業資金貸付制度を利用して、資金の借入を希望する会員に対して、申請手続きの相談を行った。

## 7. 広報・宣伝等の推進

(1) 会報「整備協会報」99号、100号、101号、102号を発行した。また、協会ホームページの更新を行うとともに会員向けに毎月のスケジュールその他各種の情報をメールで提供した。

(2) 全国水産高等学校長協会と連携し、12月に開催された「令和2年度第2回全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテスト」を後援し、審査員を派遣するとともに千葉県立館山総合高校Aの作品に対し、今後一層の活躍を期待し会長特別賞を贈り表彰した。

## 8. 優良機関整備士の表彰

船用機関整備士の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的として、優良船用機関整備士の会長表彰を行った（授彰者29名）。

## 9. 叙勲・大臣表彰等

(1) 令和2年「海の日」にあたり、海事功労、永年勤続及び統計調査・発明考案等の功績に対して表彰が行われ、当協会会員の中から次のとおり国土交通大臣表彰4名（海事功労3名、永年勤続1名）、地方運輸局長等表彰31名（海事功労11名、永年勤続19名、発明考案1名）の合計35名のみなさまが表彰の栄に浴しました。（役職は受章時）

### 国土交通大臣表彰（海事功労）

大谷 寿一	元・(株)新和エンジンサービス	代表取締役社長
三好 康男	(有)三康鉄工所	代表取締役会長
増田 克昭	増田産業(有)	代表取締役社長

### 国土交通大臣表彰（永年勤続）

前田 健一	(株)ハイメックスキタヤマ	業務第一課長
-------	---------------	--------

**運輸局長（沖縄総合事務局長）表彰受賞者（海事功労）**

北海道運輸局長

川村 高 広 (株)テクノス 代表取締役  
 菊地 富 夫 共栄機材(株) 代表取締役  
 能戸 起 実 北海精機(株) 代表取締役

北陸信越運輸局長

桑野 成 幸 新潟ダイヤ工業(有) 代表取締役

中部運輸局長

高橋 清 高申テック(株) 代表取締役社長  
 渡邊 文 男 (有)渡邊鐵工所 代表取締役社長  
 田中 清 次 (株)田中工業 取締役会長  
 鶴澤 滋 治 (有)鶴澤商店 代表取締役社長

近畿運輸局長

堀田 佳 伸 ダイハツディーゼル(株) 代表取締役社長

九州運輸局長

其田 智 雄 (株)マリン興業 代表取締役会長

沖縄総合事務局長

富里 利 雄 (有)津島工業 代表取締役社長

**運輸局長表彰受賞者（永年勤続）**

東北運輸局長

畠山 優 (株)新和エンジンサービス 工務部課長

近畿運輸局長

萩原 正 人 ダイハツディーゼル(株) 製造部機械第1課

神戸運輸監理部長

寺村 光 浩 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部カスタマーサービス部 係長  
 三谷 円 有 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部生産部 係長  
 村上 竜 太 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部生産部 係長  
 柏崎 文 孝 阪神内燃機工業(株) カスタマーサポートセンターCS課 課長補佐  
 林 邦 和 阪神内燃機工業(株) カスタマーサポートセンターCS課 課長補佐

中国運輸局長

新本 修 (株)神田造船所 修繕事業部 部長  
 遠藤 博 (有)旭鉄工所 仕上工  
 西野 靖 司 ナカシマプロペラ(株) 岡山工場 九州サービスセンター センター長  
 伊賀 吉 郎 ナカシマプロペラ(株) ナカシマプロペラマリンエンジニアリング（上海） 前任班長  
 榊原 芳 文 向島ドック(株) 技術グループ サブグループリーダー  
 本村 英 明 向島ドック(株) 現業グループ トランスチームリーダー  
 川野 啓 次 向島ドック(株) 営業グループ 営業チームマネージャー  
 加登 正 親 向島ドック(株) 安全環境管理室

四国運輸局長

稲田 満 四国機器(株) エンジンシステム部 シニアマネージャー  
 井門 幹 紀 (株)新来島どつく 大西工場 職長  
 岡村 一 也 (有)アズマ機工 工場長

九州運輸局長

川野 博 光 マルセ工販(株) サービス部 部長

**運輸局長表彰受賞者（発明考案）**

中国運輸局長

本瓦 誠 本瓦造船(株) 代表取締役社長

(2) 弊会事業にご尽力を賜りました方々が叙勲等の榮譽に浴させました。

**旭日中綬章（秋）**

尾形 武 壽 (公財) 日本財団理事長  
 (弊協会設立以来、弊会事業にご助成を賜っています。)

## 国土交通大臣表彰（海事功労）

前田 晃（公財）日本財団専務理事  
（弊協会設立以来、弊会事業にご助成を賜っています。）

## 瑞宝双光章（春）

伊藤 隆雄 東北支部（東北船用工業会）専務理事 元東北運輸局海上安全環境部長

奥野 省三 前神戸支部（神戸船用工業会）事務局長 元神戸海運監理部総務企画部長

## 第3 会議等の開催

### 1. 総会

第9回定時総会

開催時期

6月10日（水） 東京：東海大学校友会館 富士の間

審議事項

- ・令和元年度事業報告及び決算報告について
- ・令和2年度事業計画及び収支予算について
- ・2021年度日本財団助成金の申請権限を理事会に委任することについて
- ・役員を選任について

### 2. 理事会

#### ① 第17回通常理事会【書面決議】

決議日 5月20日（水）

審議事項

- ・令和元年度事業報告及び決算報告について
- ・令和2年度事業計画及び収支予算について
- ・会員の入退会について
- ・優良船用機関整備士表彰について

報告事項

- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について

#### ② 臨時理事会【書面決議】

決議日 6月10日（水）

- ・会長、副会長及び専務理事の選定について
- ・副会長の会長代行順位の決定について

#### ③ 第18回通常理事会

開催時期 10月21日（水） 東京：八重洲倶楽部

審議事項

- ・日本財団に対する2021年度助成金の申請について
- ・諸規程の改正について
- ・会員の入退会について

報告事項

- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について

### 3. 委員会等

#### ① 第1回船用機関整備士資格検定委員会・第1回講習小委員会

開催時期 4月15日（水）【書面開催】

審議事項

- ・令和2年度1級船用機関整備士資格検定事業の中止について
- ・令和2年度船用機関整備士資格（1級）の特例措置について

#### ② 第2回船用機関整備士資格検定委員会・第2回講習小委員会

開催時期 7月13日（月）【書面開催】

審議事項

- ・令和2年度2・3級船用機関整備士資格検定の実施要領について
- ・令和2年度2・3級船用機関整備士更新の実施要領について
- ・令和2年度船用機関整備士資格検定試験員及び講師の選任について
- ・令和2年度船用機関整備士資格（1級）の特例措置について

- ③ 第3回船舶機関整備士資格検定委員会  
 開催時期 8月28日(金) 【書面開催】  
 審議事項
  - ・令和2年度1級船舶機関整備士更新の結果について
  - ・令和2年度2・3級船舶機関整備士に対する特例措置について
  - ・令和2年度1級船舶機関整備士新規講習会、更新講習会の年度内開催の提案について
  - ・資格検定規程に関する改正の検討について
- ④ 第4回船舶機関整備士資格検定委員会  
 開催時期 12月22日(火) 東京：日本財団ビル  
 審議事項
  - ・令和2年度2・3級船舶機関整備士資格検定試験の結果について
  - ・令和2年度2・3級船舶機関整備士資格検定の更新状況について
  - ・令和2年度1級船舶機関整備士資格検定実施要領について
  - ・令和2年度1級船舶機関整備士資格有効期間更新の実施について
  - ・船舶機関整備士資格検定講習会講師の追加選任について
  - ・令和2年度1級船舶機関整備士資格検定に関する更新講習会の一部実施要領変更について
- ⑤ 第5回船舶機関整備士資格検定委員会・第3回講習小委員会  
 開催時期 2月16日(火) 【書面開催】  
 審議事項
  - ・令和3年度船舶機関整備士資格検定試験の実実施計画について
  - ・令和3年度1級船舶機関整備士資格検定の実施について
  - ・令和3年度1級船舶機関整備士資格有効期間更新の実施について
  - ・3級船舶機関整備士資格検定学科試験の選択問題廃止について

#### 4. 支部活動

北海道	船舶検査動向等打合会	5月8日(金)	・・・中止
	通常総会	6月26日(金)	・・・書面決議にて実施
東北	通常総会	6月5日(金)	仙台 東北港運会館 (規模を縮小して開催)
	船舶検査動向等打合会	6月5日(金)	・・・中止
北陸	通常総会	6月12日(金)	新潟 ハイメックスキタヤマ (規模を縮小して開催)
	船舶検査動向等打合会	6月12日(金)	・・・中止
関東	通常総会	7月22日(水)	・・・書面決議にて実施
中部	通常総会	6月22日(月)	・・・書面決議にて実施
	船舶検査動向等打合会	7月6日(月)	・・・中止
近畿	通常総会	7月16日(木)	・・・書面決議にて実施
神戸	通常総会	7月17日(金)	・・・書面決議にて実施
中国	通常総会	7月8日(水)	広島 ホテルグランビア広島
	船舶検査動向等打合会	7月8日(水)	広島 ホテルグランビア広島
四国	通常総会	7月3日(金)	・・・書面決議にて実施
	船舶検査動向等打合会	7月17日(金)	・・・中止
九州	通常総会	6月17日(水)	・・・書面決議にて実施
沖縄	通常総会	5月22日(金)	那覇 沖縄船員会館 (当初4/24の開催予定を繰り下げ)